

令和5年10月1日

保護者様

京都市立南大内小学校
校長 皆川 真有美

令和5年度 学校評価アンケート＜前期＞

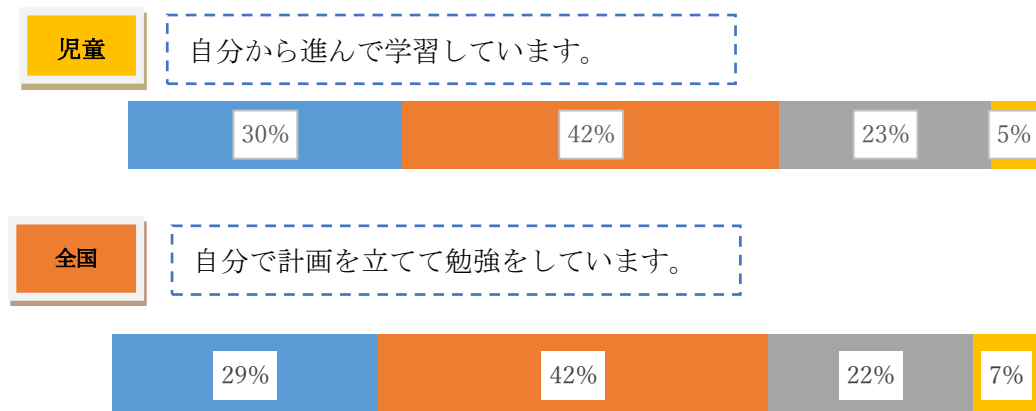
平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、6月末に実施しました学校評価アンケートについてお伝えします。アンケートの数値から子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

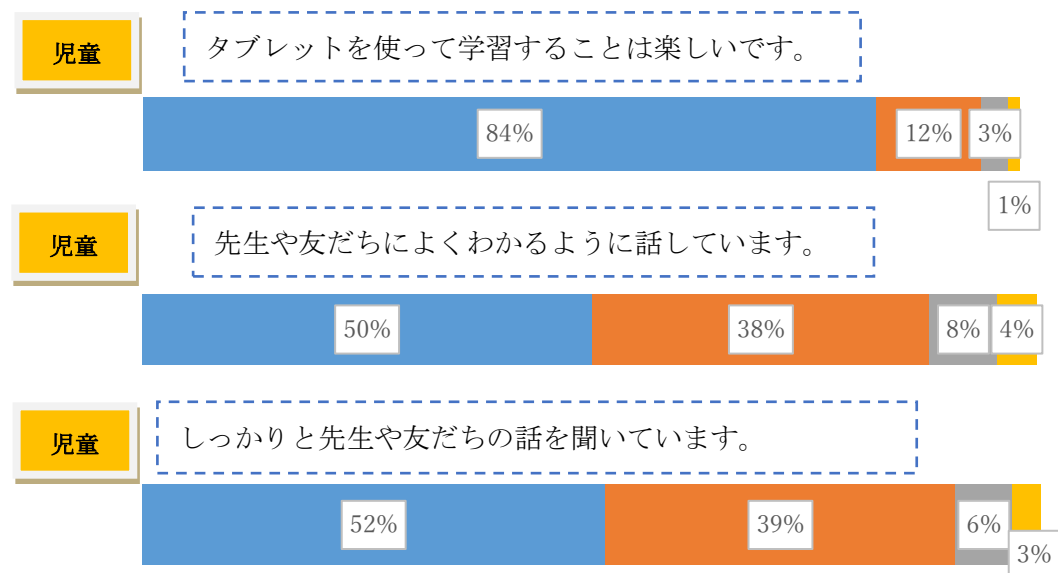
＊グラフの項目、左より 「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」

1 「確かな学力」の育成に向けて

本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。これは、子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現できる資質・能力を育てることを目指しています。「子どもたちが自ら進んで学習すること」についての項目を見ると、おおむね、自らを高めるために、進んで学習に取り組んでいることがわかります。全国学力調査質問紙の「自分で計画を立てて勉強をしています」と比較をしても遜色ない結果となっています。

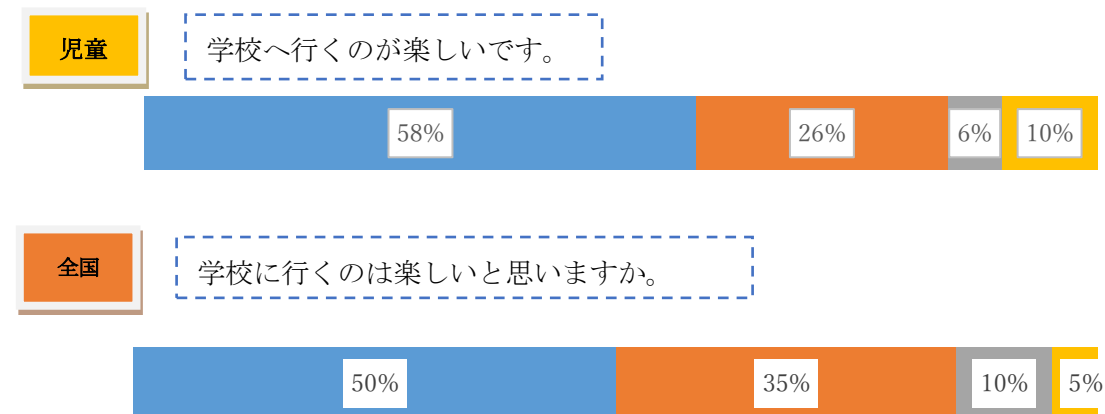


その要因の1つと考えられるのはタブレット端末の導入だと思います。「タブレットを使って学習することは楽しいです」の項目からも分かるようにタブレット端末の活用は学習をするうえで大きな役割を果たしていると考えられます。しかし、その反面「先生や友だちによくわかるように話しています」「しっかりと先生や友だちの話を聞いています」の項目を見ると「そう思う」「大体そう思う」の割合が減っているのは、気になることです。タブレットが普及してきたとはいえ大事なことです、そのような力もしっかりと伸ばしていきたいと思います。

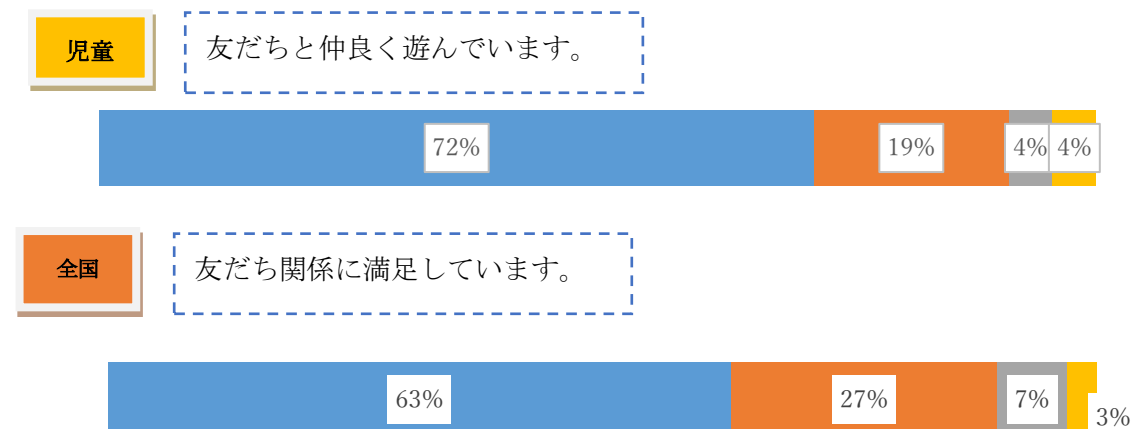


2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、支えあい、高め合う集団作りの推進と絆づくりが欠かせません。また、規範意識をもち、多様性を理解することも大切です。子どもたちがどのような思いで日々の学校生活を過ごしているかを把握し、豊かな心の育成を目指していきたいと思います。

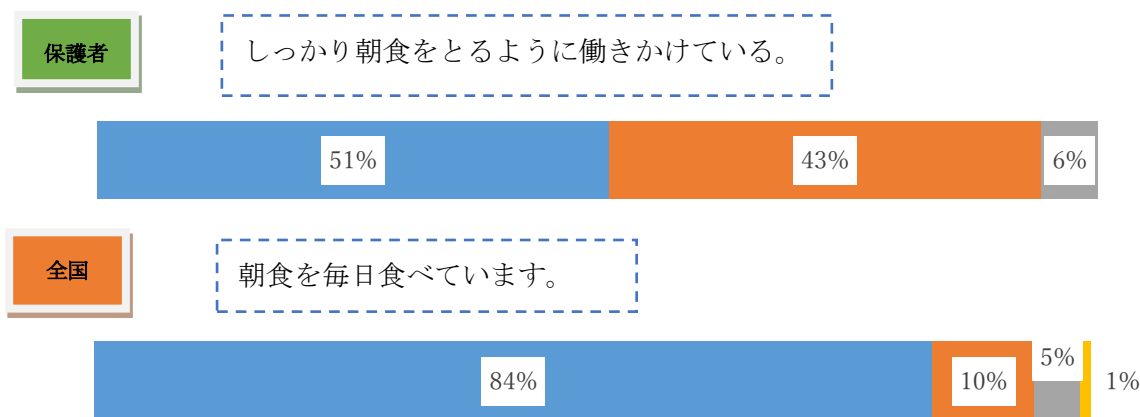


「学校へ行くのが楽しいです」の項目を見ると、楽しいと感じている児童が多いことがわかります。全国学力調査質問紙の「学校に行くのは楽しいと思いますか」と比較をしても本校児童が安心をして登校できていると思います。しかし、楽しいと感じていない児童もいることにも目を向けなければなりません。特に本校では「そう思わない」が10%で、全国学力調査質問紙と比較しても高い値になっています。児童の声に耳を傾け、細かな対応を心がけていきます。そして、豊かな心を育成していきたいと思います。



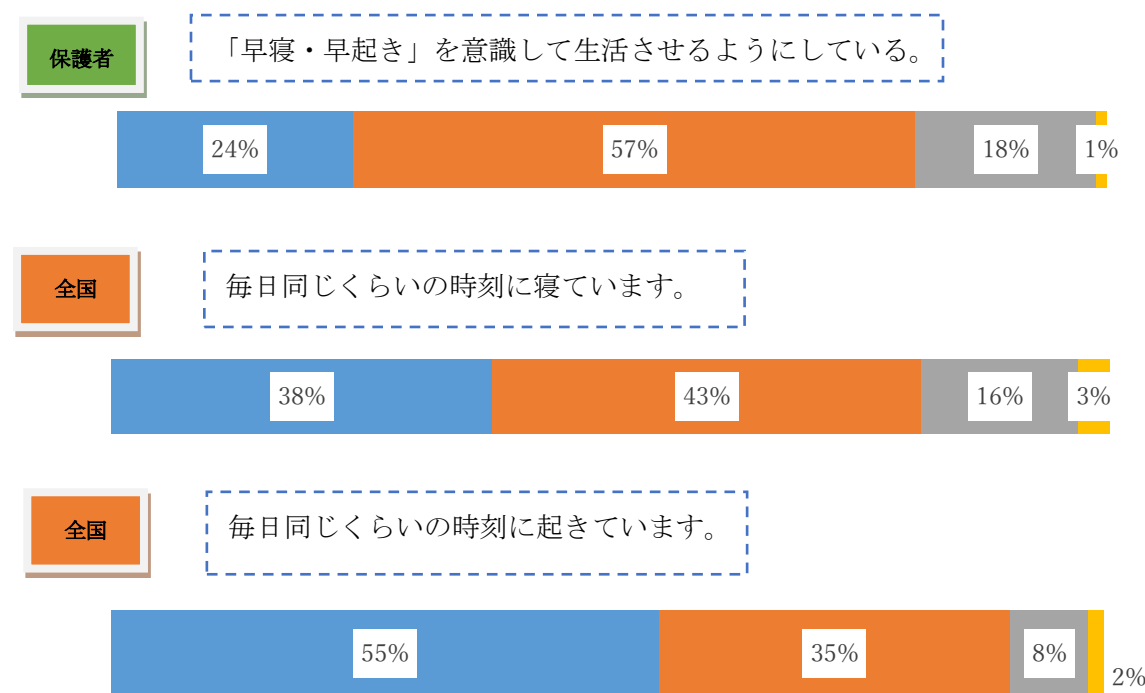
「友だちと仲良く遊んでいます」の項目を見ると、「そう思う」の割合がとて高くなっていました。この結果は全国学力調査質問紙の「友だち関係に満足しています」と比較しても大変高く、学校生活の中で、友だちとの関係が充実していることがわかります。本校では、『対話的な学び』を大切にして教育活動を行っています。充実した友だち関係が対話において大きな役割をはたしていると考えています。学級や学年を問わず、学校全体で『対話的な学び』を高めていきたいと考えます。

3 「健やかな体」の育成に向けて

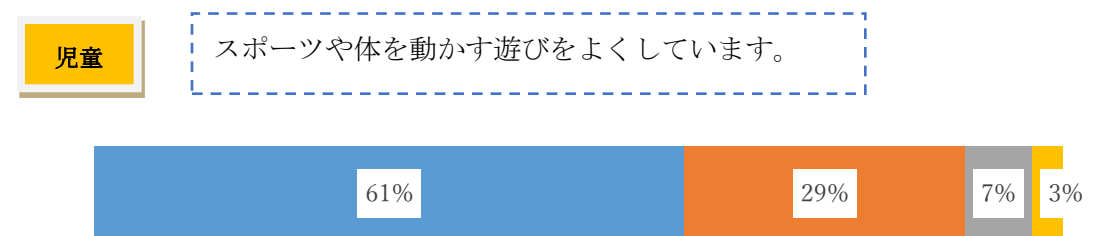


保護者アンケート「しっかり朝食をとるように働きかけている」の項目では「そう思う」「大体そう思う」が9割以上の割合を占めています。これは全国学力調査質問紙の「朝食を毎日食べています」の項目と比較しても遜色ない結果となっています。今後も各家庭に協力していただき、児童がしっかりと朝食を食べる習慣を続けていけたらと思います。

また、朝食を食べることの大切さを児童に伝えていけたらと思います。

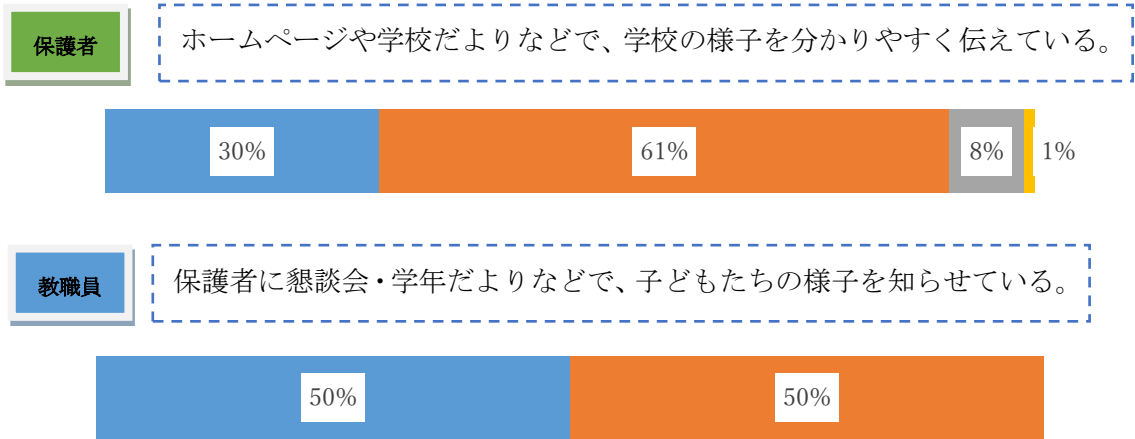


保護者アンケート『「早寝・早起き」を意識して生活させるようにしている』の項目では「そう思う」「大体そう思う」が8割以上と高い結果になっています。これは全国学力調査質問紙「毎日同じくらいの時刻に寝ています」や「毎日同じくらいの時刻に起きています」の項目と比較しても遜色ない結果となっています。しかし、「そう思う」の割合が早寝・早起き共に全国よりも低い割合になっていることにも目を向けなければなりません。朝食同様に体づくりには欠かせないことですので学校と家庭が協力しながら今後も生活チェックを継続していきたいと思います。よろしくお願いします。

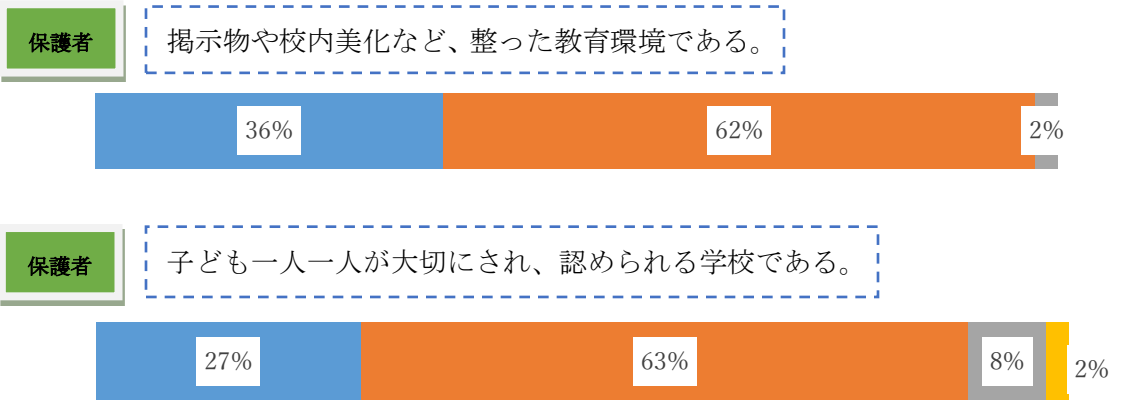


「スポーツや体を動かす遊びをよくしています」の項目では、他の項目と比べて、「そう思う」「大体そう思う」が多かったです。休み時間や、下校までの時間に外で遊ぶことや、どんな遊びができるかを子どもたちと一緒に考え、「そう思う」「大体そう思う」がさらに増えるように取り組んでいきたいと思っています。

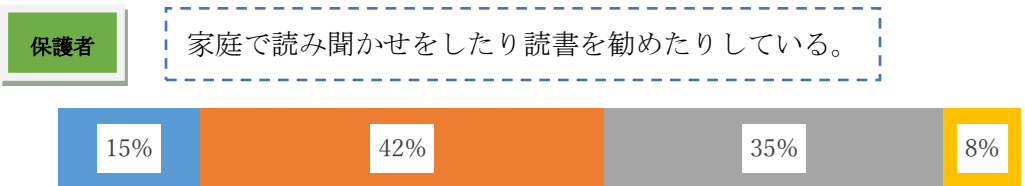
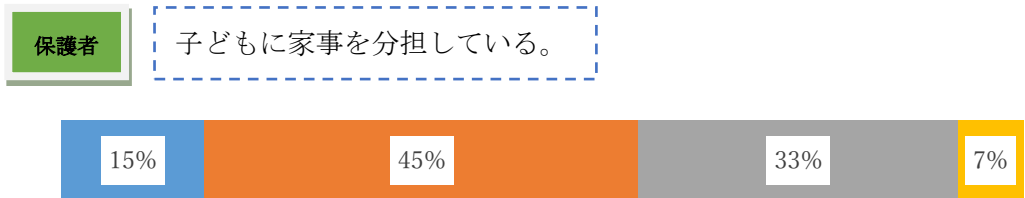
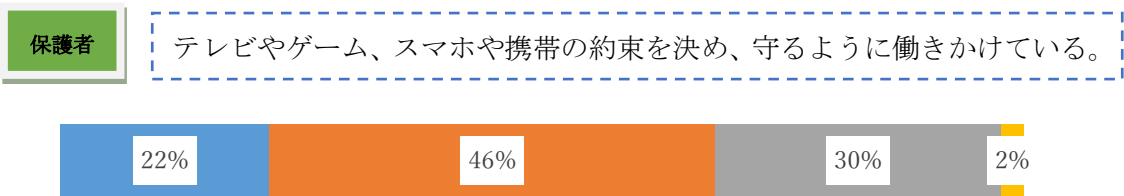
4 その他



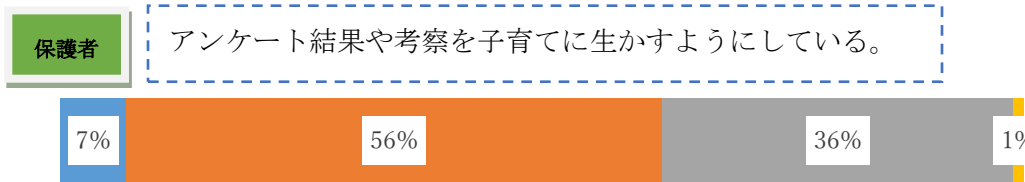
情報共有や連絡等についての項目です。質問の内容が異なっているので、数値をそのまま比較はできませんが、今年度からスクリレを活用したオンライン上でのプリント配信や閲覧、確認ができることが、このような結果につながっていると考えられます。今後もスクリレ配信が有効な場合と紙面配布が有効な場合を考え、情報を発信していこうと思います。



「掲示物や校内美化など、整った教育環境である」「子ども一人一人が大切にされ、認められる学校である」の項目では、肯定的な意見が多く、学校としては、とてもうれしい結果でした。日頃から、本校の教職員みんなで心がけてきたことであるので、今後も引き続き大事にしていき、「そう思う」の割合が最も高くなるように努めていきたいと思っています。



保護者アンケートの結果で、実現度が特に低かった項目が、上の3つで、ご家庭での取組の難しさがうかがえます。しかし、昨年度に行った同項目のアンケートと比較すると、肯定的な数値の割合が増えています。家庭でタブレット端末やスマホ等の使用するときのルールや、正しい使い方をみんなで意識できるようになってきていると思います。また、高学年の家庭科で学習するように小学生も「家族の一員」という意識をもち、家庭の仕事を分担して行うことができてきたように思います。学校での読書タイムをはじめ、家庭での読書の取組が進んできているように思います。今後も学校と家庭が協力して児童を育てていけたらと思います。



上の結果は、学校がアンケート集計したものを、どのように発信するかに関係していると考えられています。昨年度と比較し、子育てに生かしている家庭が大幅に増えました。ご協力ありがとうございます。今後も成果と課題を明確にし、わかりやすく発信していきます。また、次回は今回の結果と次回の結果を比較し、1年の取組の成果を見られるようにしたいと考えています。